

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:令和4年3月29日

事業所名:障害児通所支援 INGENU

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは基準通り確保されている。玩具や遊具は、出すとスペースが狭くなるため、必要に応じて出すように配慮している。	はい:17 どちらともいえない:5 いいえ:0 わからない:2	「どちらともいえない」「わからない」との回答が何件もあった。スペースが十分確保されるように環境整備を行っているが、新型コロナウイルスの影響もあるため、保護者様が安心してできるように、よりスペースの確保を目指す。
	2 職員の適切な配置	必要な職員は配置されており、保育士やセラピストも在籍している。	はい:20 どちらともいえない:5 いいえ:0 わからない:4	「どちらともいえない」との回答が一定数おられるため、常に十分な職員を配置していることを保護者様に説明していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	出来る限り動きやすい環境整備を行っているが、玄関は段差があるため、児童に説明し、注意しながら事故なくスムーズに動作を行えている。	はい:18 どちらともいえない:4 いいえ:0 わからない:2	よく動く児童が増えてきたため、転倒に十分注意し、危ないこと、場所について説明しながら環境整備を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新型コロナウイルスの影響もあり、消毒等の感染対策を徹底している。また、プログラムや制作等、活動状況に合わせて空間を確保している。	はい:18 どちらともいえない:4 いいえ:0 わからない:2	新型コロナウイルスの影響もあり、清潔な生活空間の確保を徹底している。今後も安心して心地よく過ごせるような場所を目指す。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	児童について、スタッフ間で話し合う機会を増やし、目標設定や振り返りを行っている。		スタッフ個人個人の目標設定に対してしっかり行えたかどうかを評価し、改善していけるよう目指して行く。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施できていない		今後第三者の介入を必要に応じ検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	1人が児童発達支援管理責任者の研修に参加した。		今年度も児童発達支援管理責任者の育成を行い、研修を受けられるよう進めていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用前に児童を連れてきていただき、アセスメントを実施している。保護者のニーズも踏まえ、児童に沿った課題を抽出し、計画を作成している。		適切なアセスメントの実施を心掛け、利用時までにはしっかりと課題を分析し、療育を行っていけるよう目指して行く。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用児童に合わせ個別やグループでの活動を行っている。今年度はソーシャルディスタンスを確保しながら少しずつ全体での活動を増やした。	大半の保護者が「はい」との回答だが、「どちらともいえない」や「わからない」との回答もあった	個別でのリハや集団活動を組み合わせ、児童の状況に応じた計画を作成していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	半年に一度モニタリングや日々の様子を踏まえ、対象児童についての会議を行い計画書の内容を変更し、支援内容を記載している。		継続して具体的でわかりやすい内容を記載できるよう努める。
4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に挙げられた課題やニーズに沿って、適切な支援を実施できるよう努めている。	はい:23 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	評価は良好であるため、継続して計画に沿った適切な支援を実施していけるよう努める。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	5 チーム全体での活動プログラムの立案	新型コロナウイルスの影響により、利用児童全体での活動プログラムを行う回数は減ったものの、児童同士のコミュニケーション、協調性を育めるようなプログラムを立案できるよう努めている。	大半の保護者が「はい」との回答だが、「どちらとのいえない」や「わからない」との回答もあった	職員がプログラムを立案していけるよう、会議や職員同士の意見交換を増やしていく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校からの利用のため短時間でできるようなプログラムを実施する等の支援を行い、休日や長期休暇はゆっくり時間を使い、たくさん活動できるよう支援している。		利用する時間や利用人数に応じて、臨機応変に活動内容を変更する等、状況に応じたきめ細やかな支援を実施できるよう目指す。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムが毎週同じにならないよう調整しており、同じプログラムでも方法を変え、また違った感覚で楽しめる様工夫している		継続して活動プログラムが固定しないよう工夫しながら支援を行っていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	前日に役割分担や利用児童の確認を行い、当日に適切な支援を実施できるよう努めている。		継続して支援開始前に活動プログラムや役割の確認を徹底し、児童に合った支援を行っていく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に児童の様子や送迎時に保護者から聴取した内容を連絡ノートやLINEに記載し、休みのスタッフも情報が共有できるようにしている。		支援終了後の連絡ノートへの記載、送迎での保護者との会話を職員同士で必ず共有するよう促していく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳を毎日複写にて残しており、トイレの時間やおやつ、活動内容を記載している。その他気になること等あれば、特記事項として記載するようにしている。		連絡帳にわかりやすく具体的な記録を書くよう徹底し、内容の確認、評価を行う。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	新型コロナウイルスの影響により、現在は電話にてモニタリングを実施しており、支援計画書や報告書を見直している。		モニタリングは半年に一回以上は必ず実施し、見直した支援計画を作成していく。
1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	同法人の障害児相談支援事業所を数名利用しており、より詳しい担当者会議を行うことができるようになった。		相談支援事業所への利用を促し、担当者会議等に積極的に参加していく。	
2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要な児童は在籍しているが、今年度はほとんど利用されなかった。しかし、てんかんや熱発等、急変時に対する対応等を緊急連絡帳やアセスメントに記載いただくことでいつでも対応できるように努めている。		今年度何度か吸入のみ医療ケアを実施した。医療機関からの指示書を記載してもらっており、今後も関係機関と連携した支援を実施していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	吸入が必要な子どもに対して、看護師が保護者、医師に詳細を確認後、医療的ケアを実施している		保護者から緊急連絡カードに主治医を記載いただいております、引き続き実施していく
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	今年度も他の児童発達支援事業所からの移行支援はみられなかった。		今後、移行依頼や弊所からの移行がある際は、学校からの情報や事業所の支援内容を十分に聴取し、円滑に移行支援を行っていただけるよう目指して行く。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	今年度は弊所からの卒業生はいなかった。		卒業される児童がいる際、卒業後の事業所へ十分な情報提供を行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修には参加できていないものの、支援センターからの計画書や報告書をコピーさせていただき、スタッフに共有している		外部の施設から紹介される研修等を積極的に受講していく。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	普段は各児童がそれぞれ他の学校との交流会などに参加しているが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、中止となった	はい:5 どちらともいえない:0 いいえ:6 わからない:13	今後事業所として、必要に応じて保育所や児童館と交流していただけるような機会を作っていく
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度は新型コロナウイルスの影響により、地域のイベントが中止となり、毎年行っている事業所の遠足も中止となった	チェック項目に記載されていないため、回答なし	神戸の放デイ、児発連絡協議会に参加し、他事業所も含めたイベントを今後運営、参加していただけるよう目指して行く。
	保護者への	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に支援内容や利用負担等について詳しく説明しており、モニタリング時や受給者証更新時に変更があった場合はその際に説明している。	はい:24 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		個別支援報告書を作成後、会議を実施し、個別支援計画書を作成し、保護者に支援内容を説明して納得いただいてから署名、捺印をいただいている。	はい:23 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	計画書についての説明をモニタリングを通して丁寧に説明できるよう努めていく。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		現在はまだ実施できていない。	はい:11 どちらともいえない:1 いいえ:4 わからない:8	新型コロナウイルスの影響が落ち着き次第、保護者学習会等を企画していく。
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		送迎時に児童の状態について	はい:22 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:0	評価は良好であるため、継続して保護者との連絡を密にとり、日々の状況についての共通理解を徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
説明責・連携支援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から、当該児童だけでなくその兄弟や姉妹の悩み等についても、状況に合わせて助言や相談を行っている	はい:16 どちらともいえない:3 いいえ:3 わからない:2	前年度よりも「はい」以外の意見が多かったため、保護者から相談しやすい環境を作り、適切な対応や助言ができるよう早急に目指して行く。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度も、新型コロナウイルスの影響により延期となった	はい:6 どちらともいえない:3 いいえ:7 わからない:8	保護者会を行えていないため、「はい」以外の意見が多い状態であった。落ち着き次第保護者会を開催する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応マニュアルを作成しており、迅速に対応するよう心掛けている	はい:17 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:4	継続して適切な苦情に対する対応ができるように体制の整備に努める。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用児童の障害によって意思疎通や情報伝達の方法を配慮している	はい:23 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	評価は良好であるため、今後も個々の利用児童または保護者の障害について十分配慮しながら意思の疎通を行っていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等は発行していないが、ホームページにて日々の活動や行事の写真を載せている	はい:9 どちらともいえない:2 いいえ:2 わからない:11	ホームページの更新が現在あまりできていないため、早急にアップロードし、保護者への伝達をおこなう。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に、個人情報保護に関する書類を説明した上で、署名・捺印をいただいている	はい:21 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:2	継続して個人情報の取り扱いに十分注意していく。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応、災害、感染症についてマニュアルを作成しており、毎年研修に参加後、職員全員に勉強会を実施し研修記録を残している。	はい:17 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:4	マニュアルは作成しているが、知らない保護者もいるため、周知徹底をはかる。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	通常は防犯訓練を避難場所の小学校に協力していただき実施しているが、現在新型コロナウイルス感染症の影響で外出や小学校への移動が難しく、計画のみ作成している。	はい:14 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:9	新型コロナウイルス感染症の影響が収まり次第、小学校に協力していただきながら防犯訓練を実施していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	神戸市の虐待防止の研修に参加した後、その内容をスタッフ全員に研修し、伝達を行っている。		今後も年一回以上の虐待防止研修を徹底し、知識を再確認したり、新しい知識を共有する
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていない		今後も身体拘束を行う予定はないが、もしもやむを得ない場合があった場合は、十分に保護者の理解を得てから行うよう徹底する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	卵アレルギーのある児童がいるため、他児と一緒に食事する場合、出来る限り距離を離し、常にスタッフが間に入り、間違っ口にに入れてしまわないよう見守りを行っている		定期的アレルギー反応が生じた際の対応方法の研修を行い、対応を再確認していく。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	些細なことでもヒヤリハット報告書を記載するようスタッフに周知している		ヒヤリハット事例を増やし、アクシデントが起こる前に未然に防げるよう常に会議などで事例検討を実施する。